

2016年9月7日

10 団体事務局各位

一般社団法人日本印刷産業連合会
価値創出委員会

印刷産業の新たな事業承継に向けた教育プログラム
“若手印刷人のためのオープンセミナー” 東京会場
参加申込のお願い

一般社団法人日本印刷産業連合会（以下日印産連）は、グランドデザインに基づき印刷産業の価値創出に資する活動の一環として、印刷産業の継承に向けた若手印刷人教育強化のために、このたび“若手印刷人のためのオープンセミナー”を開催することになりました。

デジタル化の進展とともに印刷産業の再定義、再構成が求められていますが、「印刷」の未来に向けた事業承継と経営戦略等の研究・考察を行い、経営幹部候補となる人材の育成を図ってまいりたいと考えています。

つきましては、各団体より経営幹部をめざす候補者（若手2名程度）の参加申込をぜひともお願いしたく、P2の申込用紙に記入のうえ、FAXまたはEメールでお申込みください。

~~~~~  
(概要)

全体テーマ 『印刷産業の経営課題と経営戦略』

■実施概要

- ・日 程 2016年10月4日(火)、5日(水) 10:00～17:30(2日目は17:40終了予定)
- ・会 場 日本プリンティングアカデミー(東京都文京区小石川4-13-2)
- ・募集人数 各団体2名程度(団体合計20名程度) JPAの学生10名と合同受講・研究
- ・参加費用: 無料
- ・申込期限: 2016年9月27日(火)
- ・講習内容

CSR概論と産連グランドデザイン、環境課題と対策、グリーンプリンティングの理解、技術動向～技能五輪・デジタルプレス、印刷産業の広報戦略、印刷産業と市場動向～ソフト化戦略研究、個人情報保護とプライバシーマーク制度、国際動向、印刷産業を魅力ある産業にするには?

- ・ワークショップ研究

環境価値づくりに向けた自社具体化策、自社戦略への具体化策

(詳細は、P3～ご参照ください)

宛先：(一社)日本印刷産業連合会 価値創出委員会行 FAX: 03-3553-6079

E-mail: ooshima@jfpj.or.jp

2016経営者育成プログラム

『若手印刷人のためのオープンセミナー”東京会場』参加申込書

【日時】平成28年10月4日(火)、10月5日(水) 10:00~17:30 (5日は17:40終了)

【参加費】無料

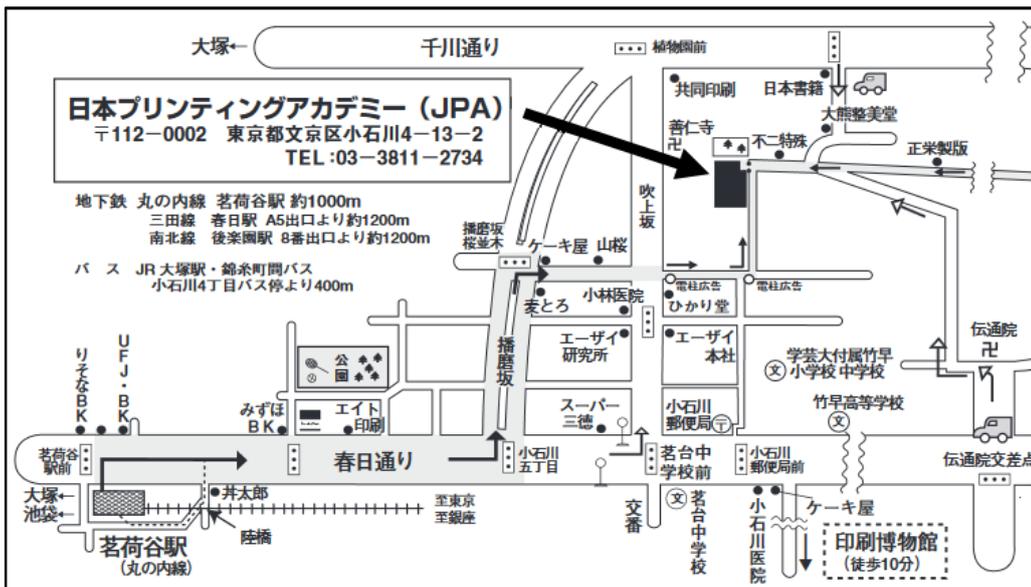
【所属団体名】

【所属団体事務局担当者名】

| 氏名 | 会社名・所属部署 | 会社住所 | 連絡先    |  |
|----|----------|------|--------|--|
|    |          | 〒    | TEL    |  |
|    |          |      | FAX    |  |
|    |          |      | E-mail |  |
|    |          | 〒    | TEL    |  |
|    |          |      | FAX    |  |
|    |          |      | E-mail |  |

・お預かりしました個人情報は、弊会の個人情報保護方針に基づき安全かつ適切に管理させていただきます。

■セミナー会場(学校法人日本プリンティングアカデミー-東京都文京区小石川4-13-2 TEL: 03-3811-2734)



問合せ先: 日本印刷産業連合会市場調査部大島まで  
TEL: 03-3551-6051  
※JPA(日本プリンティングアカデミー)へご来校の際は、公共交通機関をご利用下さい。

- ◆東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅より約1,000m
- ◇都営三田線 春日駅 A5 出口より約1,200m
- ◆東京メトロ丸ノ内線・南北線 後樂園駅 8番出口より約1,200m
- ◇都営バス・都02系統(大塚駅前~錦糸町駅前)「小石川四丁目」停留所より400m

**JPA・日印産連共催 秋季特別講習会**  
**“若手印刷人のためのオープンセミナー”**  
**東京会場 講座プログラム案**

- ・開催場所: 日本プリンティングアカデミー(東京都文京区小石川4-13-2)
- ・講義内容は最新の情報に更新して行います。
- ・1コマの時間は、50分の場合と60分の場合と個別に設定させていただきます。
- ・ワークショップは100分とします。

**【1日目】**

| 10月4日(火) |               |                                       | 講師 |
|----------|---------------|---------------------------------------|----|
| 1        | 10:00 ~ 10:10 | 学校長挨拶                                 |    |
| 2        | 10:10 ~ 11:00 | CSR概論と産連のグランドデザイン(50分)                | 神戸 |
| 3        | 11:10 ~ 12:10 | 環境課題と対策 1(60分)                        | 石井 |
| 昼休み      |               |                                       |    |
| 4        | 13:30 ~ 14:30 | グリーンプリンティングの理解                        | 殖粟 |
| 5        | 14:40 ~ 15:40 | 技術動向 ~ 技能五輪、デジタルプレス他 (60分)            | 北嶋 |
| 6        | 15:50 ~ 17:30 | ワークショップ : 「環境価値づくりを、自社に応用すると？」 (100分) |    |

**【2日目】**

| 10月5日(水) |               |                                       | 講師 |
|----------|---------------|---------------------------------------|----|
| 1        | 10:00 ~ 10:50 | 広報と営業について考える (50分)                    | 杉村 |
| 2        | 11:00 ~ 11:50 | 印刷産業と市場動向~ソフト化戦略研究 (50分)              | 大島 |
| 昼休み      |               |                                       |    |
| 3        | 13:00 ~ 13:50 | 個人情報保護とプライバシーマーク制度 (50分)              | 上村 |
| 4        | 14:00 ~ 14:50 | 世界の印刷業界の動向 (50分)                      | 石橋 |
| 5        | 15:00 ~ 15:50 | 印刷産業を魅力ある産業にするには?(50分)                | 小野 |
| 6        | 16:00 ~ 17:40 | ワークショップ : 「今日の情報を、自社戦略に役立てると？」 (100分) |    |

## <若手印刷人のためのオープンセミナー>概要

### 全体テーマ 『印刷産業の経営課題と経営戦略』

主旨 社会とともに成長発展していく印刷産業の社会的責任を理解した上で、次代に挑戦する印刷業界の新たな力(価値)を学び、経営戦略に役立てて頂きたいと思います。

特にワークショップでは、参加者の多様な意見やアイデアを結集させ、印刷産業の新たな価値創出への大きな手掛かりを獲得できることを目標にします。自社の経営資源(リソース)を活用した経営戦略を立ち上げるための一助として、各自が応用展開できるように双方向の研究・考察を行います。

### 講義内容

#### 1.CSRと産連グランドデザイン (神戸)

CSR(企業の社会的責任)は、今日の企業経営の中核とすべき考え方です。

本講座では、CSRとは何か、なぜいまCSRに取り組む必要があるのかなどについてわかりやすく解説します。日印産連のグランドデザインもこれからの印刷産業の発展のために、印刷産業全体で社会的責任を高めていくべきであるという考えにのっとり設計された戦略です。

本講座では、グランドデザインの具体的な展開として活動している施策の概要を説明します。

#### 2.環境課題と対策 (石井)

印刷業界は様々な環境負荷を与える業界であるため、公害防止を中心とした法規制の遵守と、法規制ではないが、これらの環境負荷を低減するための自主的取組(=環境自主行動計画)を推進している。

だれでもが「印刷産業=環境配慮産業」と認識できるよう、環境関連テーマに積極的に取組み、その成果を広く社会に周知していく、その状況について説明します。

#### 3.グリーンプリンティングの理解 (殖栗)

印刷企業が行わなければならない環境対策とは何でしょうか。法を守ることだけでしょうか。グリーンプリンティングは、印刷企業が行うべき環境対策、印刷工場が使用する環境にやさしい資機材、お客さんに提案する環境に配慮した印刷製品、それぞれがどういうものか、具体的に提示し、認定制度を実施しています。業界団体が主導している本制度の基本を解説します。

#### 4.技術動向 ~技能五輪、デジタルプレス他 (北嶋)

本講座では、22歳以下の若人が集まって2年に1回開催される「技能五輪国際大会(次回は2017年10月にアラブ首長国連邦アブダビで実施予定)」の概要と参加の意義について説明します。また、本年6月にデュッセルドルフ(ドイツ)で開催された drupa2016 について、いくつかのポイントについて紹介します。

## 5. 広報と営業について考える（杉村）

印刷会社の広報活動や営業活動はどのように行えば効果が出せるのでしょうか。  
BtoB 企業という特徴を活かした印刷会社ならではの戦略や戦術について一緒に考えたいと思います。

## 6. 印刷産業と市場動向 ～ソフト化戦略研究（大島）

印刷市場の概況を把握し、印刷産業の動向を理解した上で、デジタル時代の流れに乗った事業改革を押し進め、事業戦略を組み立てていくことが極めて重要です。特にデジタル化の進展により、インターネットを基軸とした情報コミュニケーション事業の多様なソフト化戦略の事例を研究しつつ、ビジネスモデルの新たな展開を考えます。

## 7. 個人情報保護とプライバシーマーク制度（上村）

個人情報って何？答えられますか。現在、私達自身、様々な場面で個人情報を提供しています。その提供先の一つである企業から個人情報が漏えいした場合、悪意のある者から不必要なDMや不正な請求等を受けるリスクがあります。では印刷会社は個人情報を扱っているのでしょうか？個人情報の適正な管理と活用について学び、関連してプライバシーマーク制度の概要と日印産連プライバシーマーク審査センターの活動についても理解を深めます。

## 8. 世界の印刷業界の動向（石橋）

世界の主要な印刷連合会からの情報をもとに、世界の印刷業界の動向や、海外での特徴的な動きを紹介し、グローバルな戦略を考える機会とします。

## 9. 印刷産業を魅力ある産業にするには？（小野）

皆さんは、現在の仕事に誇りを持っていますか。  
印刷業界は従業員が誇りを持って働き、学生が憧れる業界でしょうか。  
業界の持つ良い点、誇れる点を再認識するとともに、課題を洗い出し、改善することにより、将来、若い人たちに胸を張って引き継ぐには何をすべきでしょうか。  
(一社)日本印刷産業連合会所属の10団体の1つ、印刷工業会が前年度、より良い業界を目指して、スローガン『印刷を魅力ある業界に』を掲げて活動した内容をご紹介します。一緒に考えたいと思います。

**A：「環境価値づくりを自社に応用すると？」** （10月4日）

自社の環境価値づくりをいかに進めることができるかをグループ別に発表します。

（ポイント）

- ・自社の環境価値づくりを進めるに当たり、自社のどんな経営資源を活用できますか？
- ・それにより、どんな特色を打ち出せますか？
- ・それにより、どんなビジネス効果を期待できますか？

**B：「今日の情報を、自社戦略に役立てると？」** （10月5日）

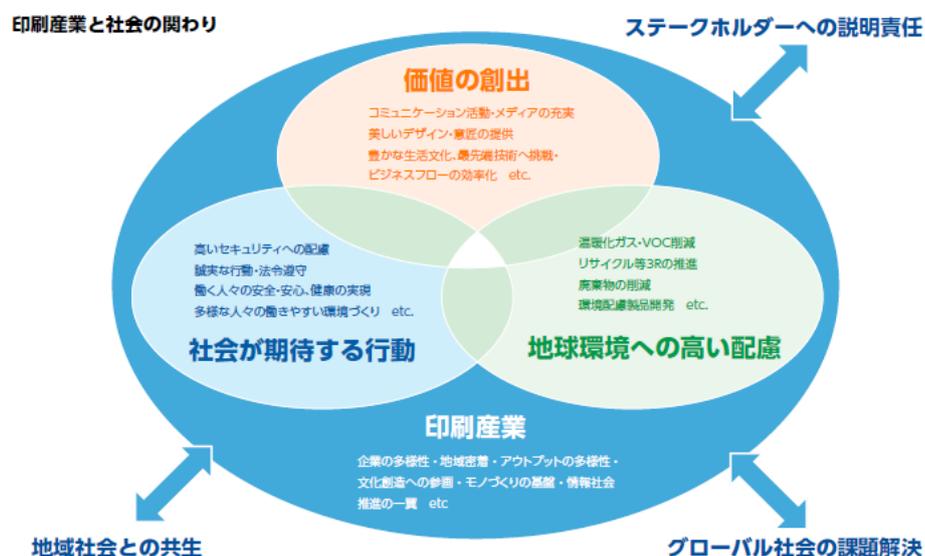
自社の経営戦略として、具体的にどんな戦略を考えますか？

（ポイント）

- ・自社の経営資源と情報コミュニケーション事業等のソフト化戦略をどのように連携できますか？
- ・自社のサービス化戦略に欠けているものは何ですか？
- ・そのためにどんな対策を行うことができますか？

## “若手印刷人のためのオープンセミナー” 基本構想

### 1. 多様なステークホルダーとの信頼構築と社会的責任を担う事業承継教育プログラム

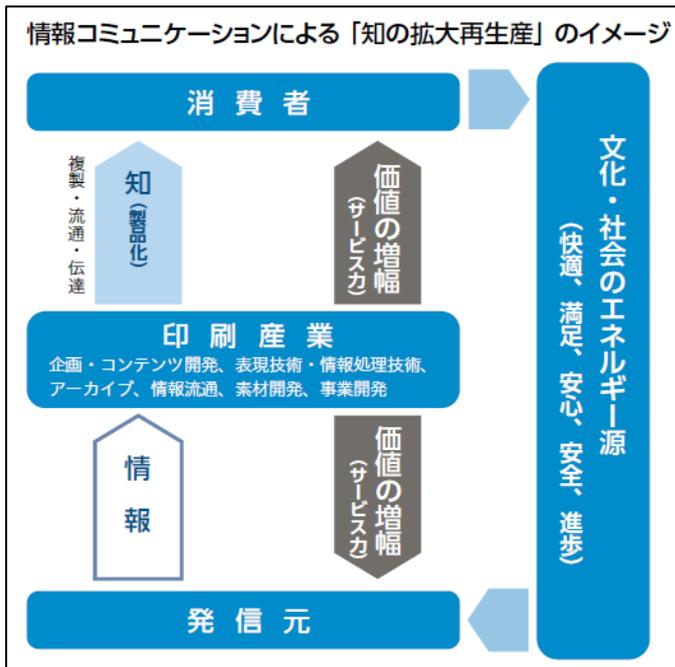


(「社会的責任報告書 SR レポート 2016」(日本印刷産業連合会, 2016) より)

印刷産業の大切な役割として、お得意先の生み出す価値の最大化を支え続けていくことが挙げられます。印刷はお得意先の業務フローの一部に組み込まれていますから、たとえば印刷産業が印刷工程の環境配慮をすることが、お得意先の環境マネジメントの向上につながります。また、お得意先の顧客である生活者の個人情報や安全に運用することで、お得意先の情報セキュリティを高め、お得意先そしてその先にいるお客様の満足度を高めることにもつながっています。こうした観点から、日印産連はグリーンプリンティング（GP）認定事業や、プライバシーマーク認定事業をはじめ、印刷産業が社会の期待にしっかりと応えていくために必要な情報の共有や、教育、啓蒙活動などを続けていく必要があります。

印刷産業は、会社の規模、取り組む事業など極めて多様かつ多彩ですが、共通して求められていることとして、顧客、取引先、社員、地域社会など多様なステークホルダーとの信頼関係をさらに高めていくことが挙げられます。こうした背景を踏まえ、2015年に日印産連は、印刷産業が社会の中で果たすべき役割を整理し、さらに高い社会的責任を果たしていくことをめざす「グランドデザイン」をとりまとめ、グランドデザインを骨格とした多様な事業活動をスタートさせました。多様なステークホルダーとの信頼関係を高め、社会的責任を担う観点から、事業承継に向けた教育プログラムはまさに必要不可欠といえます。

## 2. 印刷を通じた新しい「価値」の創出に向けたビジネスモデルの構築の必要性



前掲同書より

印刷産業は、情報を媒体として「知」の流通を支え、社会の発展と文化振興の役割を担っています。印刷技術の発展とともに社会生活やビジネスにおけるコミュニケーションを促進し、その円滑な活動をサポートしてきました。伝統的な印刷技術は印刷産業の基盤であり、各印刷会社における印刷技術の習熟と次世代への継承は、今後の新しい価値創造を行っていく上でも欠かせない責任であると考えています。

一方で、印刷に対する社会のニーズは時代とともに移り変わるため、直近の市場動向を的確に把握することが求められています。また、書籍や製品パッケージ、企業やブランドのロゴなど、印刷物は知的財産と非常に関わりの深い

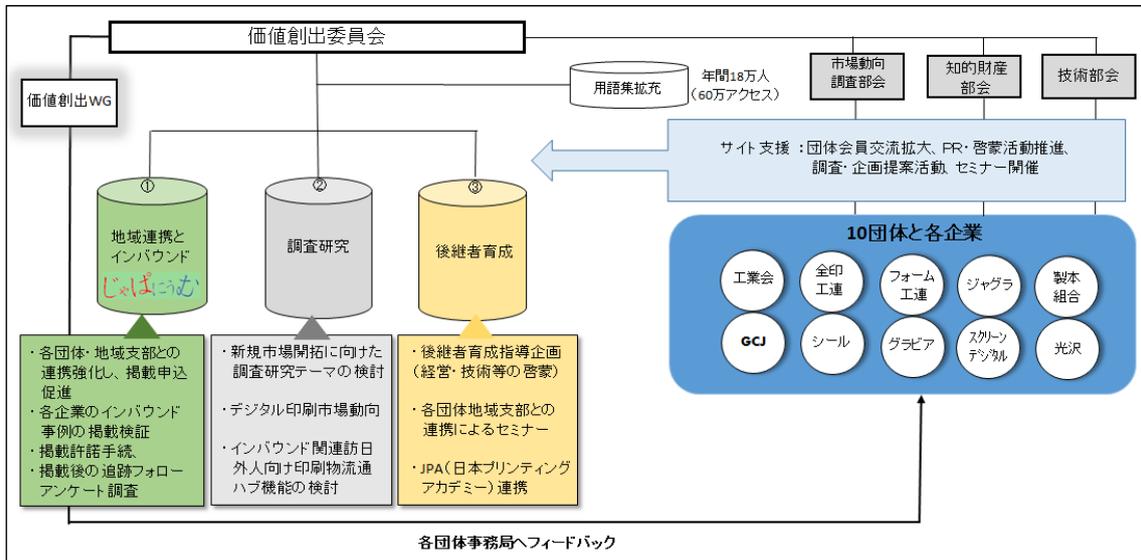
いものであり、知的財産権に関する正しい理解と活用は、知的価値の創造において極めて重要な意味を持っています。情報伝達としての手段から、暮らしを豊かにするツール、そして地球環境や人の健康を守る技術まで、印刷産業は社会に必要とされる新たな印刷価値の創出に取り組んでいます。特にデジタル化の進展とともに、これまでのビジネスの視点では印刷産業の価値をとらえることが極めて難しい状況となっていることから、デジタル社会の必要性に応える新たなビジネスモデルの創出が求められており、そのような観点での事業承継研究が重要なテーマとなっています。

## 3. 価値創出委員会と10団体連携による事業承継教育活動

印刷産業の価値創出に向け、印刷業界の情報共有・交流等を目的とした情報・ネットワーク構築が必要不可欠です。具体的な情報活用のための双方向の連携ネットワーク基盤の構築案を検討し、各団体相互協力体制のもとで具体化検討を進めていく計画です。価値創出委員会の2016年度の計画では、①地域連携とインバウンド②調査研究事業③後継者育成事業の重点課題を取り上げましたが、それらの根幹を形作るものとして、日印産連と10団体および各支部機関・各企業との密接なネットワークの構築です。委員会活動と各団体・企業活動を日々の活動と实际的に結びつけていくことが必要不可欠であり、そうすることが何よりも明日の印刷産業の収穫の刈り入れにつながるものと確信しています。インターネット基盤

構築と合わせて、事業承継に向けた実践的な教育活動が極めて重要な役割を担っているものと考えます。

価値創出委員会における情報基盤構築と各分会・各団体とのネットワーク体制



2015年 JPA・日印産連共催 秋季特別講義<挑戦する印刷産業>より

以上